

## 木彫り被り物・アマビエ

住職角田慈成は、「お寺に猫のフィギュアを置くことは、人々に仏様を知ってもらうための方法です。」と説明する。その思いから、彼は多くの日本の芸術家、漫画家、イラストレーター、写真家、彫刻家と協力し、仏教の教えをより多くの人々に伝えてきた。中でも人気なのが、木彫りの猫のお面（木彫りかぶり物）である。

この兜のようなお面は、山口県を拠点に活動する "チェーンソーアーティスト "林隆雄氏が木から削り出したものである。林氏は、全日本チェーンソーアートコンテストで 3 回、全米オープンチェーンソーアートコンテストで 2 回優勝するなど、国内外で活躍している。見た目よりも驚くほど軽いマスクは、ぜひ一度試着してみてください。

コロナウイルスの流行に対応して、隆雄氏は伝説の三本足の人魚、アマビエのチェーンソー彫刻を制作した。アマビエは豊作の時や恐ろしい病気の時、海から出てくると言われている。当然のことながら猫の顔をしており、すぐに「ねこびえ」の愛称で呼ばれるようになった。瞬間にテレビやネットで話題になった。御朱印も人気のお土産となっている。